

ほんにかえるプロジェクト 会報

2016年1月創刊

かえるのうた

第3号 2016・5月



画 栗原 広治

ほんにかえるプロジェクト2015年度収支

収入の部		(単位:円)
	備考	額
外部会員入会金	(18名分)	78,000
内部会員年会費	34名分	17,000
内部会員登録料	24名分	12,000
寄付		185,000
小計①		292,000

事業収入	カード売り上げ	22,340
	本代購手数料	37,703
	アマゾン本売り上げ	21,480
	ネット検索等諸手数料	55,259
小計②		136,782

支出の部		収入合計(①+②)	428,782
		(単位:円)	
本送料	2015.12~2016.3	37,568	
書籍無料提供分		7,124	
書籍運搬料		57,735	
かえる工房	カード・ハガキ等製作費(材料費)	229,382	
	(人件費)	3,000	
通信費		110,671	
備品費		89,000	
事務消耗品費		74,224	
ホームページ制作管理費		10,000	
振込手数料		864	
交通費		57,278	
人件費		0	
会議費		2,824	
福利厚生費		12,833	
光熱費		30,000	
会費免除者分 補填		8,000	
損金	切手等換金手数料	30,342	
ホームレス支援費		15,620	
	小計①	776,465	
予備費	小計②		
	合計①+②	776,465	
差引収支		-347,683	

預り金	現金	定額小為替	切手	印紙
	131,545	0	80,551	0
	小計			190,959

決算報告書の作成にあたり

ほんにかえるプロジェクトは 2015 年 9 月に設立されました。今年の 3 月末日にはじめての決算期を迎えましたので、報告いたします。

内外の会員から頂いた会費は 107,000 円で、寄付金は 185,000 円でした。ありがとうございます。

事業収入として、かえるメイトとホームレスの方をお願いして作成したクリスマスカードなどを修道院や教会で販売させていただき、その売上が 22,340 円でした。

中のかえるメイトに依頼され本の購入代行した際に頂いた手数料の合計は 37,703 円でした。かえるメイトに人気のないものから選び、アマゾンに出品した書籍の売上が 21,480 円でした。ネット検索の依頼が多く、なかなか対応しきれませんでした。その手数料は 55,259 円もありました。プロジェクトに入ってきたお金は全部で 428,782 円でした。

支出を見てもみますと、書籍を刑務所に送る際の送料に 37,568 円、本を寄付され、それを引き取りに行く際の高速代とガソリン代で 57,735 円を使いました。かえる工房というグッズ作成販売部門の材料費が 23 万円近くも計上したのは来年度販売予定のオリジナル T シャツを仕入れたためで、他にも大量のカード用紙を購入したためであり、本などを送る際の封筒・梱包材、送料等も

含まれています。備品費はプリンター、カメラ、レターケース類です。交通費はボランティアの方が事務所に来る際の電車賃を実費で支給したものです。注目して欲しいのは損金で、当然のことですが、アマゾンで本を買う際は現金で支払います。受領した切手を換金しなければなりません。その際に生じた差額を損金として計上しました。この分の損失は構造上から抜本的な改善が必要です。

最終収支は 347,683 円の赤字でした。全額事務局長である汪楠が立て替えることになりました。活動を継続していくにはいますぐに改善する必要があります。

以上をもって 2015 年度の会計報告とさせていただきます。

設立してまだ半年ではありますが、ここまで活動できたのはかえるメイトをはじめ皆様のご理解とご協力のおかげです。厚くお礼を申し上げます。

まだまだヨチヨチ歩き状態のプロジェクトではありますが、日本初の元受刑者、精神疾患を抱える者、家無き者等を含む社会的弱者が当事者となって、国籍、宗教、そして刑務所の高い塀も超えた形で支えあうコミュニティを実現しています。この一歩は小さくても自信と誇りをもてる一歩だと思えます。そして自分自身の新たな人生の一歩でもあり、大事にしていきたいと思えます。

汪楠

代表挨拶

田中伸彦

私は日々、清掃の仕事をしています。その傍ら地元の小さなボランティアグループで、ホームレスの人たちや生活困窮者と関わり、微力ながら支援活動を続けています。

そして縁があって受刑者の支援もさせていただいておりますが、共通しているのは個の尊重ではないでしょうか。

憲法 13 条では、すべての国民は個人として尊重されるとしている。たとえ犯罪者であっても、個人の尊厳は保たなければならないし、人である以上、認められる権利がある。

もう一つは、受刑者は社会復帰を前提としています。再び犯罪しないようにするためには教育が必要です。刑事施設法の第三十条「受刑者の処遇は、その者の資質及び環境に応じ、その自覚に訴え、改善更生の意欲の喚起及び社会生活に適應する能力の育成を図ることを旨として行うものとする。」と定められているわけです。

刑務所批判は控えますが、更生意欲の喚起も、社会生活に適應する能力の育成も刑務所だけで行うのは無理かもしれません。

という思いで私たちはプロジェクトを立ち上げました。財政的にはとても大変な状況の中にありますが、この思いを実現させるための努力は惜しみません。これからも内外のかえるメイトとともに歩み、支え合う社会を作っていきたいので、よろしくお願い致します。

かえる工房

ホームレスの人、出所した人、シスター、年寄りの主婦というメンバーが第3月曜日に集まってカード・はがき・ミニカードを作っています。目下、夏ものの作成に精だしています。

また若手メイトはTシャツにシルクスクリーンで染色しています。シルクスクリーンの型紙をカットしているのはホームレスの芸術家です。力を合わせてモノを作るのは嬉しい作業です。お買い上げ下さっている方々、クリスマスカードを予約して下さった方ありがとうございます。

かえるメイトの祈り

副代表 井手愛子 s.c.q.

みははマリア

「かえるのうた」2号で祈りを紹介しました。そして、会員になってくださった方には「会員の証」を届けはじめています。これを機に、少しずつ祈りの言葉についてお話させていただきたいと思います。

祈りは神仏に向かって、心の思いを語りかけ、聴いてもらうものです。神との対話です。ですからマリア様の代わりに「神よ」と呼びかけてもいいのです。「み母」は御母という意味です。マリアはキリストの母ですが、十字架上で弟子ヨハネ(全人類の代表)に「これはあなたの母です」、マリア様には「これはあなたの子です」と宣言されました。「キリストの母親」から私たち全人類の母となられたのです。親しみをこめて「マリアかあちゃん」でも、あなただけの好きな呼びかけをしてみてください。

全世界のカトリック教会は青葉若葉、命萌える美しい5月を「聖母の月」と定めて賛美しています。

*「かえるめいと」の表記を「メイト」と改めました。メイトは英語の友達と言う意味なので、やはりカタカナ表記がふさわしいと考えました。

アマゾン……初体験

Gabrielaiko s.c.q.

高松のかえるメイトから私宛に本が送られてきました。1冊は大沢在昌の「新宿鮫」。作者も書名も知っていたが、まだ読んだことはなかった。

筆力があって、構成も良く、人物像も巧みで、一気に読み上げた。ところが、これはシリーズもので、10巻まであるのです。「ノダメカンタービレ」も「火の鳥」も全巻買い揃えました。が、「鮫」に定価で1万近くを出費しなくなったので、そのころは知らなかった、今では常識のブック・オフに行ってみました。ところが「鮫」は他の本に比べてそんなに安くないのです。

そうだ！アマゾンだ！と閃いた。私だっ तरीっぱなかえるメイト、「書籍購入」を依頼しよう。さっそく、汪氏に残り9冊をお願いした。

楽しみに待っていると、1冊だけ届

きました。あれ、他は注文されていないのかしら？ 1冊78円・送料257円。次の日2冊、別々の袋で届いた。しかも姫路と奈良の書店！別々の理由がわかった。

次の日また1冊1円（目を疑った）送料257円が同一書店から別々の袋。

1円の本に257倍の送料をかけるか？1冊ごとに1袋、なんでこんな無駄なことをするんだろう。今までは注文したら書店からダンボールで纏めて届いていた。

なんでアマゾンがまとめて送らない？

買う方にとっては送料がまるで詐欺にあっているようで、腑に落ちない。シリーズが揃うまでの数日間、いろいろ考えめぐっていた。

そして理解した。世の中変わったのだ！？。

1円という侮辱的な値段。安価に提供して、損をしないのは“送料”でもっているからだ！

ネット社会の片隅で、小さくなりかけていた私の世界。

少し広がりをもてたかも？

アマゾンの料金

配送料についての公式サイトの説明

Amazon マーケットプレイスの出品者が販売・発送する商品を購入する場合、商品1点ごとに配送料がかかります。複数の商品を購入する場合は、商品それぞれに配送料がかかります。なお、出品者が複数の商品をまとめて発送した場合も、商品1点ずつに配送料がかかりますので、あらかじめご了承ください。

アマゾンの公式サイトより引用

このようにアマゾンはサイトで商品1点ごとに配送料がかかることを説明しています。同じ業者から注文してくれたら安く済むのにと思っていられちゃう方もいますが、安くなりません。

あと業者名だけでの発送は、差し入れ人不明として受理してくれない施設も存在します。そのため、かえるメイトからは業者に担当の個人名を記載するように言っとけと指示してることがありますが、これも対応してくれる業者はいませんでした。対策としては個人名で発送してくれた業者がいましたら、ご一報ください。そこから注文するようにします。ご協力をおねがいたします。

事務局よりお知らせ

かえるメイトの皆様、いかがお過ごしでしょうか。中にいるかえるメイトは待ちに待った春が到来し、厳しい寒さから開放されたと思うと、外にいる自分も嬉しく思います。

さて、ほんにかえるプロジェクトは昨年 9 月に設立し、今年の 3 月に初めての決算期を迎えました。事務局長である私は会計担当者よりも会計面の厳しい現状を知る立場ですが、それでも会計の決算を終えるまでは正確に把握することは出来ませんでした。今、決算を終えてみると、代表を始め、関係者一同財政面の厳しさを数字で示され、ショックを受けています。

赤字です。赤字自体は予測していましたが、ここまで酷いとは思いませんでした。ほんにかえるプロジェクトは中にいる会員も、外にいる会員も、そしてスタッフも平等に支え合うことをスタンスとし、新しい生き方を見つける手助けをすることを目的の一つにして活動しています。活動を通じて黒字で営利を得るつもりはもちろんありませんが、多額の赤字では活動そのものを継続できなくなります。この問題につい

て話し合いたいと思います。

まず、中にいる会員に登録料として 500 円、年会費として 500 円をお願いしております。これだけで本の無料提供事業を行おうとした場合、レターバック 2 つで 720 円もかかり、文庫本でもせいぜい 8 冊しか送ることが出来ません。この無料提供事業の送料を捻出するために有料で検索サービスを始めたものの、年間で収益は 55,259 円に対して、切手での支払いが多いため、換金することで生じた損金は 30,342 円にも及び、紙代・インク代といった消耗費は 7 万円もかかったので、大赤字です。

詳細を省きますが、この半期で生じた赤字は約 42 万円です。私が個人的に立て替えましたが、来年もこの調子では私の生活は崩壊します。寄付金は 185,000 円もありましたが、これも来年も見込めるわけではありません。どうしましょう？

財政面という観点から考えると、改善するには一つは収入を増やすこと。もう一つは支出を抑えることにつきます。収入を増やすといっても、中にいる会員から徴収するのは難しい。かといって外の会員数を増

やすのも困難です。補助金ももらえない状況にありません。一方、支出も人件費は 0 円だし、事務で使う紙もいろんな所からもらってきたミสปリントなどの紙で、消耗品でこれ以上の節約は無理です。寄付された本はごく一部は寄付される方の負担で事務所に郵送されてきますが、8割の本はスタッフが休みの日を利用して車を借り引き取ってきたものです。岩手県の方から約千冊の本の寄付をいただきました。その際の引取には約 5 万円の高速代・ガソリン代がかかっています。

本の運搬には運転手と車と運ぶ人がいます。車はレンタカー屋から借りています。スタッフは元受刑者やホームレスであることが多く、ボランティアとはいえ、手ぶらで帰すことも出来ず、食事を提供すれば、その費用もかかります。代表を始め、スタッフたちはみんな生活があり、プロジェクトから一銭も報酬を得ていませんから働かねばなりません。活動に時間を割いた以上は生活を切り詰めるしかありません。この現状を皆様にも認識していただいたうえで、これからのことをともに考えていきたいと思っています。

切手の扱いについて

まず入金についてですが、現金以外は一律 10%の換金手数料を徴収していますが、これに対しての不満が多く、プロジェクトも金券ショップで換金するときは 30%もの手数料を払わねばならない現状を考えると、このシステムを維持するメリットは事務局にはありません。刑務所では現金を簡単には送金できないことを知っているから、このような便宜を図ってきましたが、批判され、そのうえ損をするのは正直に言えば馬鹿らしいので、中止にしたいと思います。今後は現金と定額小為替だけを額面で受け付けますが、切手、印紙などの金券の入金はお断りします。どうしても切手でしか入金できない方も多くいると思います。その方たちのために金券ショップの相場に合わせ、額面の 70%にて受領します。ただし、登録料および年会費に関しては従来通り 10%増しで受け付けます。刑務所によっては現金の宅下げは親族にのみ許可するようなので、このような変更には不満も多いと思いますが、私たちにも生活がありますから、年間で数十万円もの赤字を補填できる余裕

がありません。

基本サービスについて

入会された場合に受けられるサービスについて、今までは明記しませんでした。決算報告を踏まえたうえで、書籍の無料提供は月に約1回とし、何冊かについては結局リクエストした本があるかどうかにより左右されるので、事前に約束することは出来ません。月に一回の郵送でも年間で2000円の費用がかかります。それを年会費500円だけで賄うのは無理ですので、寄付が必要です。

ネット検索は月に2件を上限とし、それぞれに3つのキーワードを指定することが出来ます。古本の購入代行と古本の値段調べは合計で月に20冊までとし、その受付は月に一度までとし、専用用紙に限定します。

本の購入代行について

本の購入代行につきましては、販売先は業者名で送付した場合、施設によっては受取拒否することもあります。業者側は注文通りに商品を届けたにもかかわらず、受け取ってもらえなかったとしても送料が発生したわけですから、返金に応じてくれません。また、プロジェクト側

も刑務所が受け取ったかどうかを把握できませんので、注文した時点で費用を会員に請求しています。この会員は商品を受け取っていない以上は代金を支払いたくないと主張します。お気持ちは理解しますが、こちらに非があるわけではありませぬので、補填するわけには行きません。このようなトラブルも発生していますので、ご承知の上、ご利用ください。どうしても払いたくないという方がいます。そういう時は一回だけプロジェクトの方で業者に支払いますが、当会員さんに対してのサービスを停止し、退会とさせていただきます。

購入した際の明細書を送って欲しいという方が多い。当然ですが、印刷代がかかります。希望の方は申し出てください。一枚15円で印刷します。

書籍購入代行依頼時に上限金額を抑えるのは当然のことですが、それによって購入できなかった場合もその月の購入依頼は一回と限定させていただきますので、ご了承ください。いま最も人気のある作品を全て1円で注文してくる方がいます。お気の毒に20冊を依頼してき

て1冊も買えなかったケースもありました。

またアマゾンではプライム会員になると、一部の商品の送料が無料になりますが、中古本は対象外です。本を一円で買い、無料で手元に届けてもらおうとするのは無理があります。何名かの会員にアマゾンの会員になれば送料が無料になるからと提案されました。既に会員になっていて送料無料のサービスを受けているにもかかわらず、我々受刑者から徴収し、儲けているでしょうと抗議の手紙も受けました。まさに怒り心頭ですが、よく考えたら、あるいはアマゾンのシステムをご存知ではないと思いました。

ミスプリントの使用について

経費削減の一環として、会員様への事務連絡・返信時は表面がミスプリントしたものをを使用する場合があります。多いのですが、貧乏くさいことをするなと怒る方がいます。今は役所だろうと、民間の会社だろうと殆どのところはこのように裏紙を再利用しています。ご理解下さい。こういう細かい節約をしないとやっていけないから面倒でもやっていますから、皆様もご理解ください。

ネット上の個人情報の削除についてネット上に出回っている個人情報を削除したいと考えている会員が多く、その関連の検索依頼も多い。しかし犯罪を行ったのは事実です。それをすべてなかったコトにするのはいかがなものかと思います。刑務所で刑を服したからって罪が消えるわけではないと私は思います。罪とは自分自身で一生背負うものと考えます。

確かにネット上に実名の犯罪報道が載っていると、仕事探しから部屋探しなどの時に障害となり、一般社会に復帰する際の妨げになっています。その一方では、犯罪者は全て殺せと言っている人たちもネット上では特に多いことを認識していただきたい。このような個人情報の削除を500円でやってくれないかと言ってくる方がいます。出来ません。本来は行政書士もしくは弁護士に依頼する案件です。50万円でも出来ない場合がある案件です。ご了承ください。

まとめ

以上のことを整理しますと、登録料500円、年会費500円を支払っ

た会員様には、概ね年間で12冊の書籍を提供し、2件のネット検索をし、20冊分の値段調べをします。

この他のサービスは寄付が必要です。購入代行は本代と送料の合計金額の30%相当の寄付をお願いします。毎月依頼できるのは20冊までとし、一回のみとします。

そして一番重要な変更点は、切手・印紙での支払いに関しては、従来は10%の手数料を徴収してきましたが、今後は30%増しとなりますので、ご注意ください。何かにつけてポツタクリという方がいますが、これは換金する際に発生する損失ですので、当方が利益を得ているわけではありません。

なお、このような運用方法の見直しについて、ご不満も多く出ると思っています。その救済策として、退会を希望される方には年会費の返金請求に応じる用意があります。

また既に送られてきた金券に関しては旧来通り額面の90%で計算します。9月1日以後に送られてきた金券類は額面の70%で計算しますので、ご了承ください。

入会するにあたり、申込用紙をよくお読みのうえ、同意事項に応える

必要があり、登録料と年会費を支払って頂く必要があります。こういった手続きを無視して一方的にものを頼んでくる方がいます。トラブルを避けるためにも手続きをちゃんと済ませましょう。ロコミで入会希望してくる方が多いのですが、プロジェクトはいま会員を増やす段階ではなく、無理に知名度を上げるためといった理由で会員数を増やそうとはしていません。既に会員になられた方に対しての対応が疎かになりかねないので、入会をお断りすることがあります。

2016年5月20日

このような一方的なルール変更について関係者の間でも大論争になりました。善意で始めた活動でこのような値上がり的な対応は本当に避けなかったのですが、この活動そのものを継続していくためには、このように変更するしかないという結論を断腸の思いで出しました。



かえるメイトの会員証カバー



自分に負けない！

松永忠夫

私も娑婆での生活を思い描きながら出所したのですが、自分の思い描いていたことが、現実と大きくかけ離れた甘い考えだったことにすぐに気づかされました。体力も健康にも自信があったので、まさか脑梗塞になって杖がないと外出もままならない今の状態なんて、夢にも思わなかった想定外のことなので気持ち落ち込み、自暴自棄になりかけたこともありました。

そんな私を励まし、支えてくださる心優しい人たちがいるおかげで、自棄にならず、いまアパートを借りて生活保護を受けて生活できるようになりました。これも支えてくださる方たちの御蔭と深く感謝しております。

今、週に一回リハビリテーションのため、デイサービスに行きリハビリに励んでいます。時々杖なしで歩けるようになるのかと考えてしまいます。聖書の中に「神様は、その人に乗り越えられない試練は、お与えにならない」と書いてあります。私にはその言葉を信じて、

心が弱くなったら、その言葉のところを読んで、自分に負けない！と言ひ聞かせながら生活しています。

リハビリが辛くても杖なしで歩くという目標に向かって一日一日努力していきます。今、ここで辛いから、苦しいから、こんなに頑張っているのにまだ杖なしで歩けないと諦めてしまったら、今まで頑張ってきたことが無駄になってしまうので、耐えて、必ず杖なしで歩ける日が来るのをこの手でつかみます。

収容生活を送っている方々、特に無期懲役刑を務めている方々の中には、もう長い期間を務めたのにまだ出所できないと悩んでいる方々、今絶対に自棄を起こさないでください。今までの苦労が無駄になってしまうということを思い出してください。一人で悩まず苦しまず、「ほんにかえるプロジェクト」のほうに手紙を出してくれば、スタッフの方々が一緒に考えてくれます。だけど最後は皆様方が決定して、一番良い道を選んでください。一時的な感情に走り、懲罰を受けることのないようにしてください。

娑婆では皆様の力を必要としている方々があります。自分に自信をもって、自分に負けない！でください。